


コース刷新の神戸マラソン「笑顔で完走を」 兵庫の陸上部強豪高OBら、ペースセッターが練習会

2025/10/6 17:03 

社会 神戸マラソン 須磨学園高校 西脇工業高校 報徳学園高校



神戸マラソン本番に向け、タイムを意識しながら走るペースセッターたち＝神戸市中央区小野浜町、みなとのもり公園



11月16日に開かれる「神戸マラソン2025」(神戸新聞社など共催)に向け、ランナーの完走や目標記録達成を助けるペースセッターの練習会が、神戸市中央区小野浜町のみなのもり公園であった。縁の下の力持ちとして大会を支える意義を確かめ、気持ちを高めた。

13回目を迎える神戸マラソンは、コースが見直される。終盤、神戸大橋でのアップダウンがなくなり、各ランナーの記録更新も期待される。

参加するペースセッターは、19～62歳の男女28人。須磨学園や西脇工業、報徳学園など兵庫県内の強豪高校陸上部出身者らがそろった。

練習会では、3時間から5時間半まで8段階の設定タイムと、最後尾でサポートする「完走タイムリミット」が記されたビブスを着用。目印の風船を背中に付けてジョギングし、体を慣らした。

ペースセッターを初めて務める西脇工出身の専門学校生陰山悠実乃さん(19)は「一人でも多くのランナーが笑顔で完走できるよう、一緒に頑張りたい」と抱負を語った。報徳出身で12回目の会社員横部貴之さん(38)は「ゴールを目指すランナーとワンチームになって、走りやすい雰囲気づくりをしていく」と意気込んだ。(児玉芙友)